

「見方を変えれば 世界は広がる！」

【パッケージ名】

進路選択に向けて、積極的な考え方を手に入れよう！

【パッケージの流れ】

第1時（本時） 「見方を変えれば 世界は広がる！」

第2時 「ストレスを上手にコントロールしよう」

【本時のターゲットスキル】

対人関係（物事を多角的にとらえ、思い込みを客観的に見直してみる）

自己信頼（積極的な思考法を知る）

|           | 時間  | 活動の流れ（指導者の教示・子どもの反応と行動）  | 留意点   |
|-----------|-----|--|---|
| ウォーミングアップ | 5分  | スタートゲーム「だまし絵」<br>「だまし絵」は、視点を変えて見ると、違うものが見える一つの例。一方にとらわれると、他方がみえない。今回は、「見方を変える」ということを、「もの」でなく「気持ち」でやってみたい。  | 2枚のだまし絵を用意<br>自由に発言させる<br>(以前ワークで紹介済みなので、簡単に復習)   |
| インスタレーション | 10分 | 「飲み物を飲まれた！」・・・どう思う？<br>教師によるロールプレイ<br>友だちに、飲み物を一口あげると言ってその場を離れた。帰ってくると、お茶が1/3減っている！<br>Aの反応：なんでこんなに減ってるん！<br>Bの反応：まだいっぱい残ってるわ～<br>同じ事実を見ても、視点、評価が違う。そして、世界の見え方、感情も違う。<br>A 「ない」部分を見ている 怒り・不安<br>B 「ある」部分を見ている 安心・平穩<br>Aのとらえ方・・・「ポジティブ」(積極的 etc.)<br>Bのとらえ方・・・「ネガティブ」(消極的 etc.)<br><br>「ステップアップマナー～社会に通用するスキルを学ぼう」シリーズで、会社の人事の方からお話を聞いたように、面接や自己申告書では「自己PR」というのがある。<br>自分のことを相手に伝える大切な機会だが、みんなはどう伝えるだろうか？みんなの作文では、自分の性格に関して、短所をとらえて書いている人が多かったけれど・・・ | 大きさに演じる<br><br>子どもに聞く<br><br>子どもに聞きながら、言葉の定義を丁寧に<br><br>社会に出たときは、責任をもつ、マナーを守る、言葉遣いや態度に気をつける等ポイントを思い出させる |

|   |     |  |   |
|---|-----|--|---|
| エクササイズ  | 30分 | <p>実践コーナー（1）</p> <p>ロールプレイ「ネガティブたっちゃんの面接」</p> <p>・自分のことを「ダメなやつだ」と決めつけているたっちゃんが面接に行きました</p> <p>パターン 教師によるロールプレイ</p> <p>自己PRで、性格をきかれ、「人のいいなりになる」「自分の気持ちを言えない」とネガティブに答えてしまうたっちゃん。</p> <p>見ていた感想を、子どもに聞く<br/>(あまり良い印象を与えない、微妙、etc.)<br/>どうすれば、印象を変えられるだろうか？<br/>ワークシートを配り、短所を長所に書き換える<br/>ワークシートを集め、その中から代表案を選んで教師が演じなおす<br/>見ていた感想を、再度子どもに聞く<br/>同じ性格でも、ポジティブ、ネガティブ、両方のとらえ方がある。それはその人のとらえ方なので自由だけれど、「面接」の場面では、どちらがふさわしいだろうか？<br/>ポジティブな言い方もできると、自分自身が前向きな気持ちで、自己PRできるのでは。</p> <p>パターン 子どもによるロールプレイ</p> <p>・「ネガティブさん」の台本を作り変えよう<br/>ネガティブな自己紹介を2つ提示<br/>3つの班で、ネガティブな自己紹介をポジティブな自己紹介に変える<br/>班で意見交流、代表案を1つしぼり、台本作成<br/>各班の代表者は、さんの役をロールプレイ<br/>ロールプレイを通じて感じたことを交流</p> | <p>・2～3名を指名</p> <p>・「人のいいなりになる」<br/>人の話を良く聞く<br/>「自分の気持ちを言えない」<br/>他者を大切にできる<br/>等<br/>多様な意見をとりあげる</p> <p>机を、班の形に変える<br/>班に一枚、ワークシートを配布</p> |
|   | 20分 | <p>感じたり、考えたりしたことをふりかえる<br/>ふりかえりシートを書く<br/>全体でわかちあう<br/>ふりかえりシートを集め、可能な範囲で全体にフィードバック<br/>今日は、一つの見方にとらわれず、ちがう方向からものごとをとらえ直すワークをした。<br/>これは、今だけでなく、社会に出るときにも必要なスキル。自分やみんながマイナスに捉える部分はしっかり認識しつつも、良さを見つけ、大切に努力は、いつも忘れないでいてほしい。</p>   | <p>誰の意見を選ぶかは、十分に配慮する</p> <p>「ネガティブ」は必ずしも悪いことではない。場面や目的によって選択できる力をもつことの大切さをおさえる</p>  |
| <p>参考にしたホームページ<br/>NLPコミュニケーション <a href="http://www.nlp.vc/">http://www.nlp.vc/</a></p> |     |  |   |